

資料1 地域包括支援センターの機能強化(2018.11.9 保健福祉政策審議会資料から)

図1

地域包括支援センターの人員体制強化の必要性について

～H30.9岡山市地域包括支援センター運営協議会資料より抜粋～

| センター全体 | センター職員 | 専門職として専門性の発揮 |
|---|---|--|
| 地域の高齢者を支える、地域包括ケアシステムの中核機関 ・一層深刻な形で進行する高齢化に伴い、高度化・多様化するニーズへ適切に対応すること | ①アウトリーチ、実態把握、ネットワークづくり ・担当地区に足を運び、全ての高齢者のありとあらゆる情報を把握していること ・そのために、地域組織と密接に連携が取れていること ②適切なアセスメント、マネジメント ・課題を抱える高齢者等に対して科学的な分析を行い、適切な医療・介護・福祉の支援メニューに繋がられること ③地域づくり・資源開発 ・さらに、必要があれば新たな地域資源を多様な主体と連携して創出すること | 平成30年7月豪雨災害時には地域高齢者の把握が課題→「実態把握の重要性の再認識」 |

センターに求められる役割

しかし

現状

- ★採用者数が離職者を補うに留まるなどにより「人員不足」が常態化
- ★各センターの担当区域が日常生活圏よりも広く、担当する高齢者が多い ことなどから、
- ★「高齢者のあらゆる困り事を受け付ける総合相談窓口」としての機能が十分に発揮できていない

このため

方向性

全ての団塊の世代が後期高齢者となる平成37年までに「地域包括ケアシステム」を構築し、機能を発揮させるためには、平成35年までにセンターの体制強化を行う必要がある。

- 適切なセンター運営に必要な人員体制づくり
- 離職防止（処遇改善、業務改善等）○職員の資質向上 を行っていく

10

図2

3職種の採用・人員配置のイメージ (H30→H35)

～H30.9岡山市地域包括支援センター運営協議会資料より抜粋～

| 考え方 | 現状(H30現在) | 採用の方向性(H30→H35) |
|--|--|---|
| 総数 ○3職種をH35年までに133人程度確保(職員1人の高齢者数:1,427<国基準1,500) ※H30予算:117人から18人増 ※H30.4人員113人から20人増 | 113人(産育休者を含む) 106人(産育休者を除く【12位、1,727人】) | H30:117人の枠内で人員増 ※産育休者補充も発生率を考慮して行う H35:133人程度 [35(管理職等)+91(地区担当)+7(地域ケア担当、育休者)] 【3位、1,427人】 ※【 】内の職位は指定都市比較、人員は職員一人あたりの高齢者数(H29、H35推計) |
| 管理職・専任 ○「地区担当のない管理職」を段階的に増加(センター長の業務分散) ⇒マネジメント、スーパーバイズ機能、企画立案・業務遂行力の強化 | センター長(6) 代理(1・北のみ) 補佐(2・中央・中のみ) 専任:認知症担当(6) 地区担当業務 補佐(4) 分室長(9) 主任(7) | ・センター長からの業務分散 ・マネジメント、スーパーバイズ機能の強化 ステップ1 補佐(2+4) ステップ2 分室長(9) ステップ3 主任(7) 4人を専任へ ※担当する高齢者数の多い分室を優先 計35人程度 |
| 地区担当 ○「保健師に準ずるもの(看護師)」として「地域ケア担当(仮称)」を設け、センターに直接採用(地域経験1年後、地区担当へ) ○主任ケアマネの育成強化 ○社会福祉士の採用増加(3職種のバランスに留意) ⇒実態把握機能の強化 ⇒専門性の発揮、チームアプローチ強化 ※地区を持たない職員を除く ※医療職、主任ケアマネは少なくとも2中学校区に1人配置→段階的にバランス是正 | 保健師・看護師(18) 主任ケアマネ(13) 社会福祉士(40) 計71人 | (仮)地域ケア担当(3) →1年後に地区担当へ 保健師・看護師(18以上) 2中学校区に最低1人 段階的にバランス是正 主任ケアマネ(18以上) 主任ケアマネに転換 社会福祉士(55程度) 主任ケアマネに転換 計91人程度 |
| 採用 ○離職者等を加味して毎年度の採用者数を算出 ※H35までに20人増 →毎年度4人増・離職者等を考慮すると15人程度採用が必要 | 地域や高齢者の実態把握の強化 | 補佐専任化の補充(4) 分室長専任化の補充(9) 主任専任化の補充(7) H35までに20人程度の増員⇒毎年度4人増・15人程度採用 |

資料2 地域ケア個別会議について(2018.11.9 保健福祉政策審議会資料から)

図3

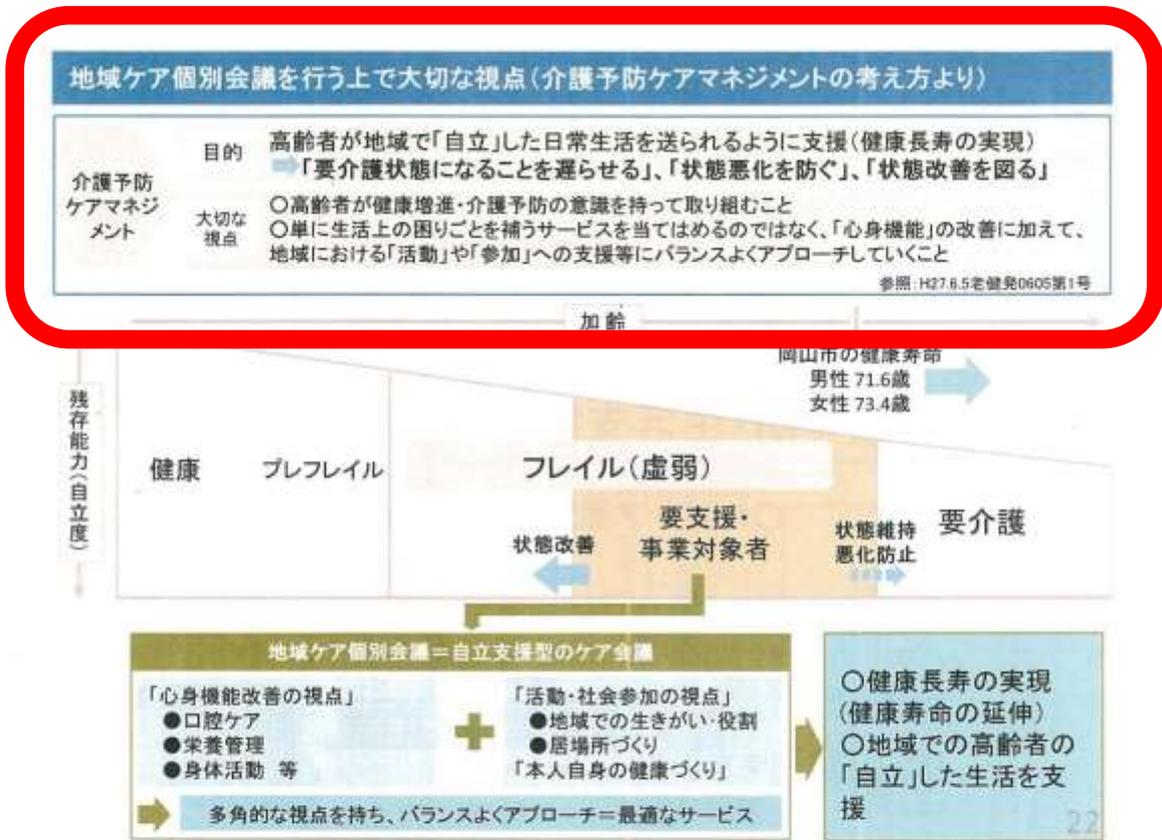
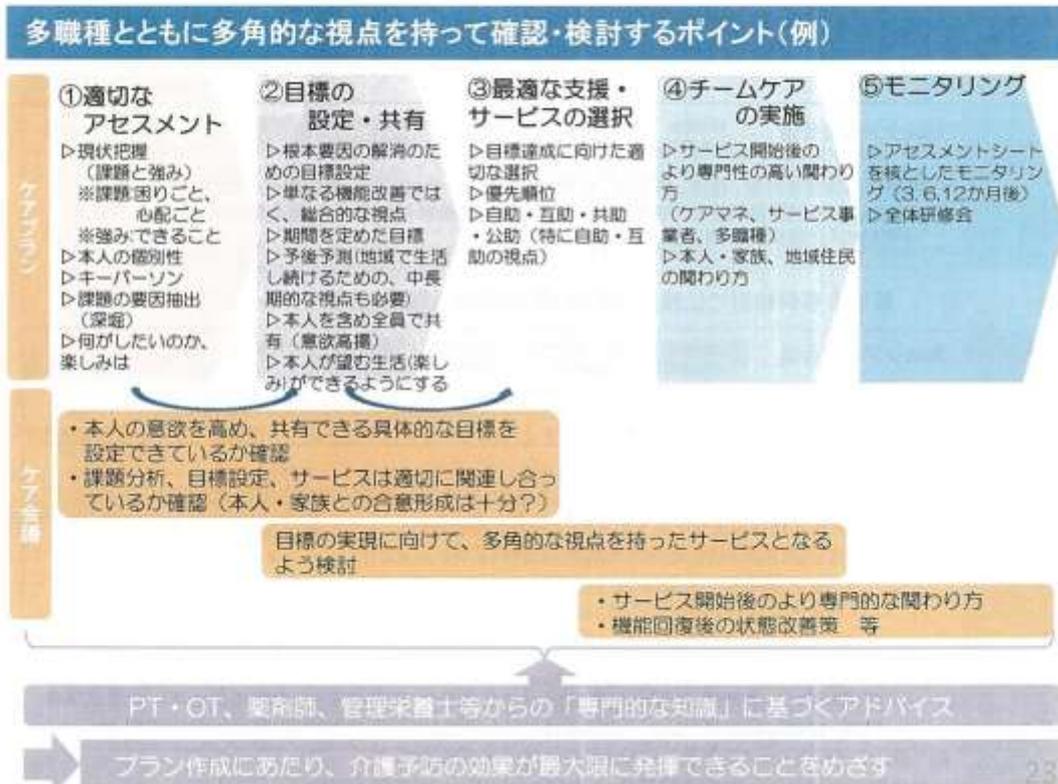
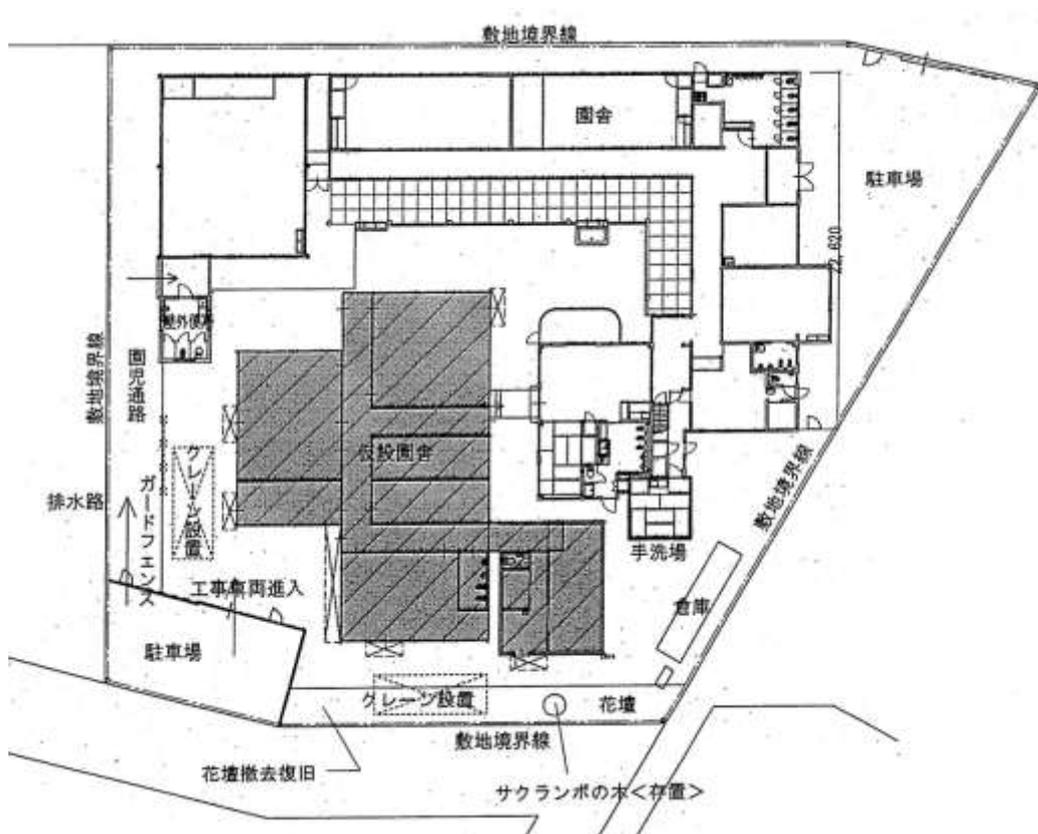
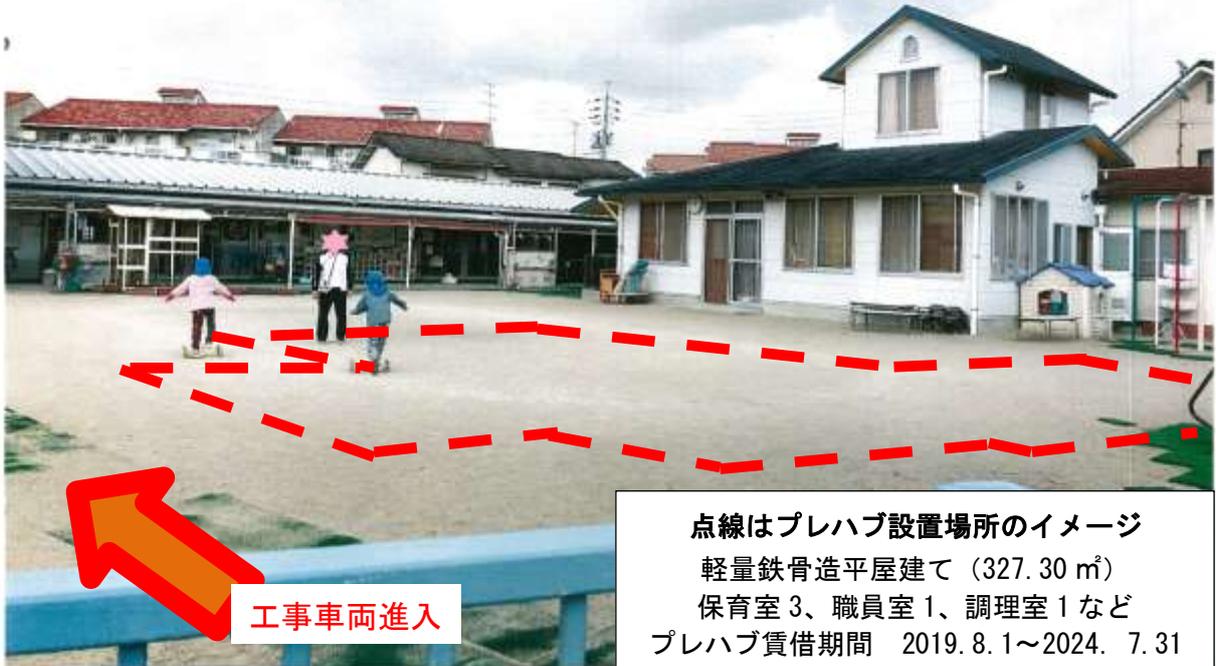


図4



資料3 岡山市可知保育園のプレハブ園舎建設について

入園児童
82人
(11月現在)



資料4 岡山市可知保育園のプレハブ園舎リース契約の予算について

●平成30年度一般会計当初予算書 (P.181)

| | | | |
|-------------|--------|------------|-------|
| | | 測量設計等委託料 | 4,200 |
| | | 文書集配業務等委託料 | 3,914 |
| 14 使用料及び賃借料 | 14,696 | | |
| 15 工事請負費 | 49,230 | | |
| 16 原材料費 | 430 | | |

●平成27年度岡山市一般会計予算

「保育園・幼稚園耐震化事業」(2015年3月6日保健福祉員会資料)

1. 保育園

| No. | 保育園名 | 対象区分 | 構造 | Is値 (耐震性能) | | 耐震改修実施設計・改修工事予定 | | | | |
|-----|---------|----------------------|------------------|------------|----------------|-----------------|-------------------|------|---------------|------|
| | | | | 0.3未満 | 0.3以上 0.6未満 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| 1 | 財田保育園 | 園舎1棟(1階) 園舎1棟(2階) | 鉄筋コンクリート造 鉄骨造 | ○ | | | 工事 | | | |
| 2 | 岡南保育園 | 園舎1棟 | 鉄筋コンクリート造 | | ○ | | 工事 | | | |
| 3 | 甲浦保育園 | 園舎1棟 | 鉄筋コンクリート造+鉄骨造 | | ○ | | 設計 | | | |
| 4 | 豊保育園 | 園舎1棟 | 鉄筋コンクリート造 | | ○ | | 設計 | | | |
| 5 | 宿毛保育園 | 園舎1棟 | 鉄骨造 | | ○ | | 設計 | | 工事は、29年度～30年度 | |
| 6 | 三門保育園 | 園舎1棟 | 鉄筋コンクリート造 | | ○ | | 設計 | | にかけて完了予定。 | |
| 7 | 巖井保育園 | 園舎1棟(南棟) | 鉄筋コンクリート造 | | ○ | | 設計 | | | |
| 8 | 金岡保育園 | 園舎1棟 | 鉄筋コンクリート造 | | ○ | | 設計 | | | |
| 9 | 浜保育園 | 園舎1棟(南棟) | 鉄筋コンクリート造 | | ○ | | | | | |
| 10 | 高島保育園 | 園舎1棟(西棟) | 鉄筋コンクリート造 | | ○ | | 工事時期は未定であり、現在検討中。 | | | |
| 11 | 福渡第二保育園 | 園舎1棟 | 鉄筋コンクリート造 | | ○ | | | | | |
| 12 | 竹枝保育園 | 園舎1棟 | 木造 | | | 木造のため、対応を現在検討中。 | | | | |

資料5 待機児童について(2018.11.13 市長発表資料から)

